して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(ｱ) 身近な集団活動に参加し，簡単な係活動をしようとすること。

(ｲ) 簡単な係活動などの役割について知ること。

キ　手伝い・仕事

人の役に立つことのできる手伝いや仕事に関わる学習活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(ｱ) 教師の援助を求めながら身近で簡単な手伝いや仕事をしようとすること。

(ｲ) 簡単な手伝いや仕事について知ること。

ク　金銭の扱い

金銭の価値に気付くことや金銭を扱うことなどに関わる学習活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(ｱ) 身近な生活の中で，教師に援助を求めながら買い物をし，金銭の大切さや必要性について気付くこと。

(ｲ) 金銭の扱い方などを知ること。

ケ　きまり

順番を守ることや信号を守って横断することなど，簡単なきまりやマナーに関わる学習活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(ｱ) 身近で簡単なきまりやマナーに気付き，それらを守って行動しようとすること。

(ｲ) 簡単なきまりやマナーについて知ること。

コ　社会の仕組みと公共施設

自分の住む地域のことや図書館や児童館等の公共施設に関わる学習活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(ｱ) 教師の援助を求めながら身近な社会の仕組みや公共施設に気付き，それらを表現しようとすること。

(ｲ) 身近な社会の仕組みや公共施設の使い方などを知ること。

サ　生命・自然

小動物等を飼育し生き物への興味・関心をもつことや天候の変化，季節の特徴に関心をもつことなどに関わる学習活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(ｱ) 身近な生命や自然の特徴や変化が分かり，それらを表現しようとすること。

(ｲ) 身近な生命や自然について知ること。

シ　ものの仕組みと働き

身近な生活の中で，ものの仕組みなどに関わる学習活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(ｱ) 身近にあるものの仕組みや働きが分かり，それらを表現しようとすること。

(ｲ) 身近にあるものの仕組みや働きについて知ること。

○３段階

(1) 目　標

ア　活動や体験の過程において，自分自身，身近な人々，社会及び自然の特徴やよさ，それらの関わりに気付くとともに，生活に必要な習慣や技能を身に付けるようにする。

イ　自分自身や身の回りの生活のことや，身近な人々，社会及び自然と自分との関わりについて理解し，考えたことを表現することができるようにする。

ウ　自分のことに取り組んだり，身近な人々，社会及び自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとしたりする態度を養う。

(2) 内　容

ア　基本的生活習慣

身の回りの整理や身なりなどの基本的生活習慣や日常生活に役立つことに関わる学習活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(ｱ) 必要な身辺処理や集団での基本的生活習慣が分かり，日常生活に役立てようとすること。

(ｲ) 日常生活に必要な身辺処理等に関する知識や技能を身に付けること。

イ　安全

交通安全や避難訓練等の安全や防災に関わる学習活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(ｱ) 日常生活の安全や防災に関心をもち，安全な生活をするよう心がけること。